第1学年	音楽科	使用教材	「中学生の音楽1」・「中学生の器楽」・ミュージックノート
------	-----	------	------------------------------

<学習の目標>

- ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てる。
- ・音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばす。
- ・音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
- ・仲間とともに一つの作品を創り上げる喜びや達成感を味わう。

授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識を持たず、積極的に授業に取り組むこと。 ・話の内容や指示もよく聞くこと。 ・プリントや楽譜などの配布物はきちんとファイルにとじ、大切に保管しておくこと。 ・提出期限は守ること。 ・恥ずかしがらずに、音楽や言葉、様々な方法で自分や想いを表現すること。 ・途中であきらめずに、できるまで努力すること。
家庭学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から様々な音楽に触れ、感性を磨きましょう。 ・合唱の歌詞を覚えたり、音程を確認したり、自主練習をしましょう。 ・筆記テストに向けて、しっかりと学習に取り組みましょう。
テストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・《1学期末考査》放送によるテスト、筆記テスト ・《実技テスト》歌唱・実技テスト

評価の観点	判断基準について
音楽を生み出している要素を理解するとともに、表現するために必要な基礎的な技能を身につけている。	筆記テスト・実技テスト など
音楽を生み出している多様な要素について考えながら、思いや意図を持って表現を工夫したり、美しさを味わって聴いたりしている。	筆記テスト・実技テスト・実音テストなど
人と関わり合いながら音楽を深め、自ら表現したり鑑賞したりしようとしている。	鑑賞態度・ワークシート・提出物など

<2学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
9	混声合唱曲 (合唱コンクール)	<ul style="list-style-type: none"> ・他パートにつられずに合唱する 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返り (スクールタクト)
10	混声合唱曲 (合唱コンクール)	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮者、伴奏者、合唱と一体感をもって、観客を感動させる合唱をする。 	合唱コン後の振り返り
	実技テスト(合唱)	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールで演奏した曲をソプラノ・アルト・テノール・バス各1名ずつ4名でテスト 	
11	アルトリコーダー 「中学生の器楽」より 鑑賞「魔王」「春」 期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの構造について理解することができる。 ・指使い、タンギングを覚える ・登場人物の感情と旋律の動きに着目する ・曲の構成と曲想の変化との関わりを感じ取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・鑑賞文
12	日本の伝統音楽(箏) 実技テスト(リコーダー)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽を味わう 	

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成 ～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」
 合唱やリコーダー演奏を録画することによって、客観的に見たり聞いたりすることができる。そこでの気づきを仲間と交流し、文字で記録することによって、生徒が主体的により良い音楽を創り上げていこうとする態度を育成することができる。